

参 考 資 料

ハクチョウ類の首バンド・足環のつけ方

北アメリカにおけるハクチョウ類標識調査グループ

プラスチック製の首バンドと足環をつけることについての、この手引をバンドと一緒に送ります。もっと多く経験を積み、ここに述べた方法はきっと修正されるでしょう。この手引きはアメリカコハクチョウ 1,200 羽、ナキハクチョウ 50 羽、コブハクチョウ 50 羽に北アメリカの繁殖地や越冬地で色足環と首バンドをつけて実験したあとで書いたものです。（もっと上手なバンドの付け方があったら山階鳥類研究所標識研究室まで教えて頂きたい。）

1. 鳥の年齢を知ることは鳥の個体群研究にとって重要な基礎となる。金属の足環がどちらの足についているかで遠くからでも、識別することができる。これはもっと北で繁殖する鳥をチェックするときや時間の限られているときに特に大切である。

	左 足	右 足
年齢のわかるもの (ヒナや灰色の幼鳥)	金属足環	色足環
年齢の不明なもの (成鳥羽の鳥)	色足環	金属足環

2. 金属足環はそれぞれの国のバンディング計画によるものを使う。金属足環の末尾の数字（できれば2桁か3桁）と色足環の数字とは一致させる。（例えば U. S. Fish & Wildlife の金属足環の番号 519-71303 は色足環の A 303 と対となっている）そうすれば足環をつけるときに混同しなくてすむし、バンディング記録を2重にチェックすることができる。
3. 首バンドは色足環と記載事項、色が同じでなければならない。この3つのバンドを一緒にしておくこと。（例えば首バンド 青-A 303、足環 青-A 303 金属足環 519-71303）それらと一緒にヒモやゴム輪と一緒に束ねるか袋と一緒にに入れておく。接着テープはプラスチックにくっつくので使用しないこと。
4. 字体は数字（アルファベット）と文字と一緒に書かれているものを使うこと。もし間違えて読んでもすぐわかる（169は反対に691と読むことができるから）（図参照）
5. 文字及び数字入りのカラー足環、首バンドを使用するときの規則は IWRB Swan Research Group Technical Note № 1 and № 4 に述べられています。いつも文字を下にするようにして使用します。（例えば、首では胴体の方に、脚では趾の方に文字が来る — 図参照）文字の位置で、どちらから読めればよいか（上からか下からか）がわかります。それと同時に種特定の文

字（その種類に応じた文字）を区別する助けとなります。

6. 捕えた鳥のいろいろの調査をしている間に接着剤が乾いてしまうようにまず初めに、首バンドと足環（それに金属足環）を取りつけて下さい。プラスチックのカラーバンドには接着剤をつけるのに十分な重なりを持たせてあります。一緒に送ったすぐ乾く接着剤だけを用いて下さい。接着剤が羽毛につくといけないので最小限の接着剤を用いて下さい。重なりを調整して首バンドが上下に自由に動くようにゆりめて接着するが、頭部からはずれてしまわない太さにする。

アメリカコハクチョウの首バンドの内径 54～57 mm

ナキハクチョウ、コブハクチョウ " 57～60 mm

北極地方においてはハクチョウの雛が小さすぎて成鳥用のバンドがはずれるようなら首バンドをつけてはいけません。

Clothes pin（又はそれと同様な道具）は接着剤が乾くまで所定の位置に重なりを留めておくのに使用できます。ピンでそこをしっかりとめたら首バンドのヘリの内側（特に）から拭い去って下さい。尖ったり、でこぼこしているヘリは、やすりをかけてなめらかにして下さい。ハクチョウを放鳥する前にそのピンを外すのを忘れるな。

もしあなたがうっかりしているようなら、接着剤の固まるまで3分間位重なりを両手の指で押えておいて下さい。うまくやる秘訣は形のよい首バンドを作ることです。同じ方法がカラー足環にも適用されます。バンドの形が脚を上下に動かせるようになっているか、また脚の回りを回せるかもう一度注意深くチェックして下さい。

首バンド及び足環は接着剤で固めなければならない。さもないと外れたり植物ともつれたりします。足環をセメントで固めないもつ一つの支障は tarso-metatarsal を通って下がって歩くのに非常に邪魔になることです。

7. カラー足環は首バンドと同様につけることが大切です。なぜなら足環の方が長くもつし、首バンドに傷がついたり、首バンドが落ちてでも遠方からでも識別することが出来ます。

（要約） — 山階鳥類研究所標識研究室